

独特な発展を遂げてきた、高品質な野菜の生産地



火山灰土壌と湧水の恩恵を受けた独特の農業が育まれてきた三島。江戸時代には、霧深く急勾配の続く難所「箱根路」を越える旅人をもてなす茶屋や宿、運送業などを営みながら農業に従事する集落ができました。そのころから現在に至るまで、土壌や技術改良の努力を重ねてきました。現在では「箱根西麓三島野菜」として地域ブランド化が進められ、少量多品目の高品質な野菜が生産・出荷されています。